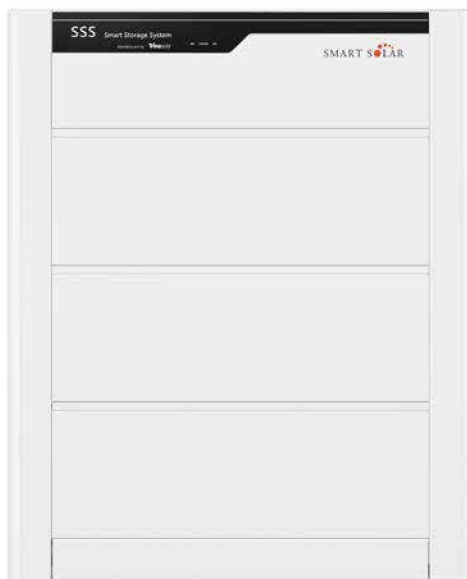


蓄電池について

Smart Power Storage System
Point

1

停電時も安心な 大容量全負荷タイプ



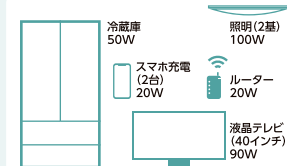
満充電の状態で作れる機器の目安

【初期実効容量】※1

9.5 kWh

約 34 時間
使えます

非常時に最低限必要と想定される家電(下図)合計280Wを連続して使用した場合の使用時間



合計280w

※各電化製品の仕様等で消費電力が異なるため、上記使用可能時間を保証しているわけではありません。
※出荷段階では地震など突発的な停電時でも使用できる容量を10%確保(非常時蓄電池設定10%)しています。
この容量はお客様が変更することが可能です。

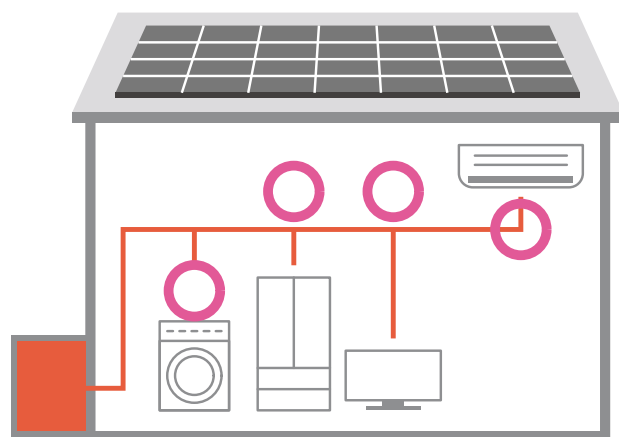
余った電力をたっぷり貯められる大容量の11.5kWh※2

【初期実効容量=9.5kWh※1】

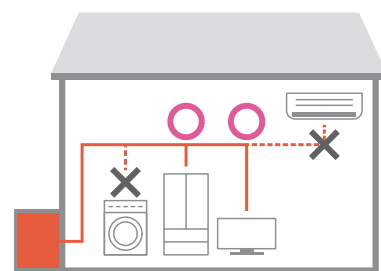
発電した電気をたっぷりためておけるのももちろん、もしもの停電時も
たくさん電化製品を使うことができるので、ワンランク上の安心につながります。

※1「定格容量」×「放電深度」×「システム効率」が実際に使える電力量=初期実効容量。
※2 冬期の寒冷地において気温によってはシステム保護のため一時的に充電容量を制限する場合があります。

[全負荷型]



いままでの[特定負荷型]



限定したコンセントのみ使用可能。

すべてのコンセントが
使用可能。※

※蓄電池のご利用は、最大100Aまでになります。100Aを超える設備をお持ちの場合は分電盤を分け、
停電時にお使いになる設備などを100A以内におさめるようまとめた分電盤に蓄電池を接続願います。
※単相3線式の配線の場合、最大容量(合計)20kVAが目安になります。

家中のコンセントが使える [全負荷型] ※3

※3 生命に関わる機器(医療機器など)は接続しないでください。

スマート蓄電システム



スマート蓄電-T



ハイブリッド
パワーコンディショナ



スマート
スイッチボックス-H



スマートAI

Point 1

停電時も安心な大容量全負荷タイプ

一般的な4人家族の電気消費量に相当する
約10kWhを充電することが可能なので停電時も安心です。

Point 2

スマートAI・災害対策モードで、かしこく・安心

お得と安心～毎日の生活ともしもの備えを自動的に制御。
災害対策モードは災害警報と連動し、自動的に蓄電池への充電を開始します。

Point 3

安心安全な保証体制

製品保証は安心の15年保証。
洪水時の故障など、自然災害補償は10年補償。

選べるモード

■ 通常



自家消費モード(建て得でんちの標準運転モード)

太陽光発電で作った電力の余剰分を、蓄電池に充電して太陽の出ている夜間や早朝などに活用する自家消費を優先したモードです。



売電モード

夜間電力を蓄電池に充電し、太陽光発電で作った電力の余剰分を全て売電するモードです。

■ 非常時



災害対策モード

災害による停電に備え、強制的に蓄電池を満充電にするモードです。
停電時等の非常時は、自立運転モードに自動で切替ります。
※台風や大雨などの警報が発表されると自動でこのモードに切替ります。



自立運転モード

太陽光発電と蓄電池のみで電気の充電・供給を行うモードです。
停電を検知すると自動でこのモードに切替ります。
※自立運転では、ペースメーカーなど生命に関わる機器への接続は絶対に行わないでください。

蓄電池について

Smart Power Storage System
Point

2

スマートAI・ 災害対策モードで、 かしこく・安心



スマート
AI

気象データから発電予測
つくる予測

翌日の太陽光発電を予測します。

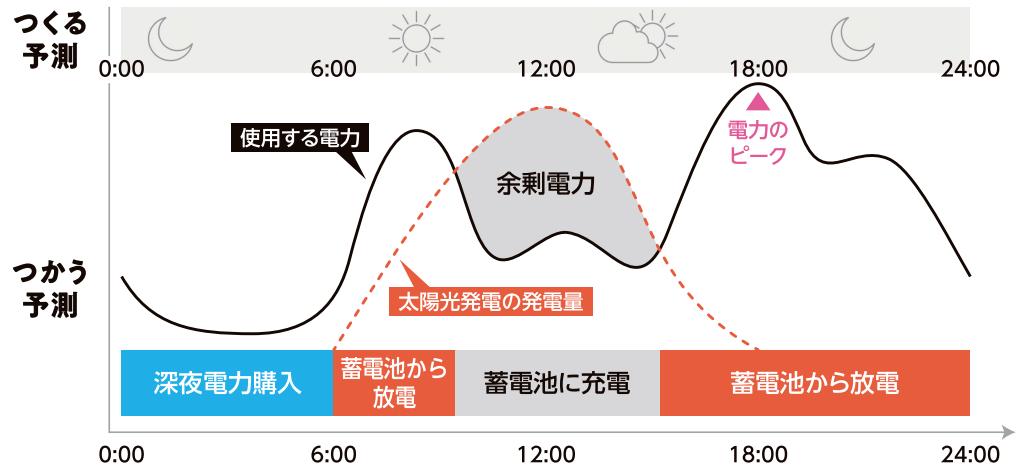
ご利用状況から消費予測
つかう予測

電力消費パターンと生活パターンから消費予測をします。
スマートAIは、エコネットライト
コンソーシアムの認証品
認証番号：GZ-000673

AIで電気の使う・貯めるを最適化 あなたにぴったりの制御計画を立てます

例えば、雨の予報で休日(在宅)なら、あすは雨の予報で発電が見込めないし休日でも電気の消費量が多いから、深夜電力で蓄電池にためておくことができます。
※最適化のため、ご使用開始から1ヶ月程度電力消費の学習期間がございます。
※蓄電池の充電・放電の制御方法は予告なく変更する場合がございます。

スマートAIの活用は出荷時には無効になっています。ご利用時には設定を有効にしてください。



※宅内にインターネット・Wi-Fi環境とスマートフォンが必要になります。

災害モード搭載で、停電の備えも万全

⚠ 災害警報

① 自動で蓄電池に充電スタート

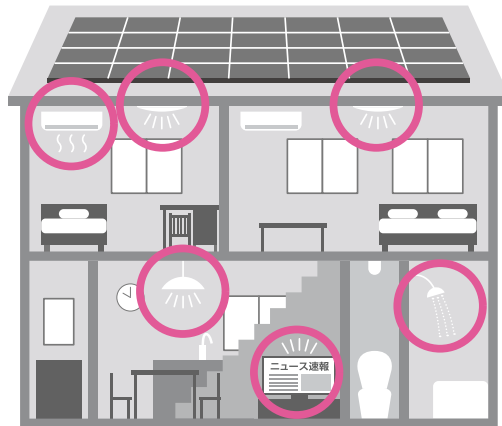


災害対策モード(災害警報発令時)
台風や大雨などの警報が発表されると災害対策モードに切り替わり、自動で蓄電池に充電して停電に備えます。

② 電気を供給

自立運転モード

停電時は太陽光発電と蓄電池のみで電気をまかないすべてのコンセントが使いになります。



蓄電池のご利用は、最大100Aまでになります。100Aを超える設備をお持ちの場合は分電盤を分け、停電時にお使いになる設備などを100A以内におさまるようまとめた分電盤に蓄電池を接続願います。

※単相3線式の配線の場合、最大容量(合計)20kVAが目安になります。

すべてのコンセントが使用可能。

※宅内にインターネット・Wi-Fi環境とスマートフォンが必要になります。

安心安全な保証体制

システム保証

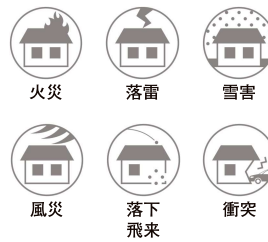
15年 0円



※スマートAI(測定ユニット・コントローラ)の保証期間は1年間となります。

自然災害補償

10年 0円



一般的な火災保険には含まれていないことが多い

※地震(地震による火災なども含む)・津波は対象外となります。

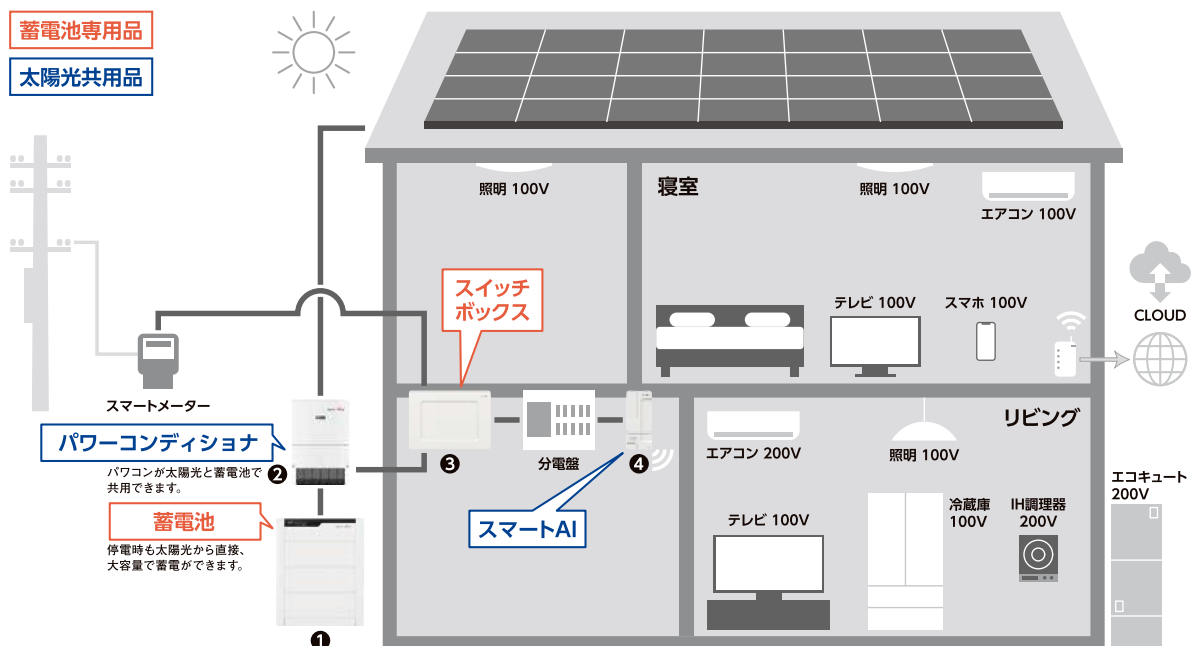
※この補償は、住宅の火災保険などの支払責任が同じである他の保険契約または共済契約が優先されます。

※この補償は、スマート蓄電システムを購入されたすべてのお客様を被保険者として、引受保険会社と締結する保険契約です。

※詳細は、LIXILスマート蓄電システムカタログに記載の「動産総合保険・機械保険 被保険者証(サンプル)」をご確認ください。

※太陽光パネル(モジュール)は本補償の対象外です。

システム構成



※インターネット環境が必要です

※必ず固定回線をご準備ください。モバイルWi-Fiはご遠慮ください。